

ACIテクニカルサポートとTACの要求出力ガイドの収集

内容

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[ACI APIC とスイッチ](#)

[オンデマンドテクニカルサポート](#)

[トリガーし、APIC経由でIntersightにアップロード – Nexus Insights Cloud Connectorアプリケーション](#)

[トリガーし、NDからIntersightにアップロード : Nexus Dashboard Insights](#)

[APIC UI を介したトリガー](#)

[オンデマンドテクニカルサポート ファイルの説明](#)

[テクニカルサポートローカル](#)

[APIC CLI を介したトリガー](#)

[スイッチ CLI を介したトリガー](#)

[CIMC テクニカルサポート](#)

[CIMC UI を介したトリガー](#)

[CIMC CLIを介したトリガー](#)

[CIMC Techsupportsの解析](#)

[監査、イベント、障害などの拡張 \(TacOutput \)](#)

[Trigger via Trigger Tacoutput - 5.3/6.0\(3d\)以降のリリース](#)

[Collect TacOutputsスクリプトによるトリガー](#)

[クラッシュ/コアファイル](#)

[APIC UI を介した収集](#)

[スイッチ CLI を介した収集](#)

[APIC アプリテクニカルサポート](#)

[APIC UI を介したトリガー](#)

[Application Virtual Edge \(AVE \)](#)

[Vem-Support](#)

[AVE ノード CLI を介したトリガー](#)

[vCenter/ESXi ホストログ](#)

[vCenter/ESXi UI を介したトリガー](#)

[Nexus Dashboard Orchestrator \(NDO \)、以前の MSO](#)

[トラブルシューティング レポート](#)

[NDO/MSO UI経由のトリガー – MSO Pre-2.x](#)

[NDO/MSO UI経由のトリガー – MSOバージョン2.x](#)

[NDO/MSO UI経由のトリガー – MSOバージョン3.x以降](#)

[NDO/MSO UI経由のストリーム – MSOバージョン3.x以降](#)

[スタンドアロン監査ログ](#)

[NDO/MSO UI を介した収集](#)

はじめに

このドキュメントでは、ACIのTACと連携する場合のトラブルシューティングに必要なさまざまなログと出力について説明します。

背景説明

TACケースをオープンする前に収集するデータの概要については、表1を参照してください。

表1：ログ/Show tech収集マトリックス

| 問題 | 収集対象 | 注意事項 |
|------------|--|--|
| アップグレードの問題 | <ol style="list-style-type: none"> アップグレードの問題のあるノードからのオンデマンド テクニカルサポート. すべての APIC からのオンデマンド テクニカルサポート. TacOutput を介した追加の障害、イベント、監査. | APICが異なり、オンデマンドのtechsupport収集が失敗する場合は、Techsupport Localを収集します。 |
| ランダム接続の問題 | <ol style="list-style-type: none"> srcノード (srcエンドポイントが接続されている) からのオンデマンド Techsupport。 dstノード (dstendpointが接続されている場所) からのオンデマンド Techsupport。 TacOutput を介した追加の障害、イベント、監査 | |
| 接続の完全な消失 | <ol style="list-style-type: none"> リーフからのオンデマンド テクニカルサポート (src および dst) スパインからのオンデマンド テクニカルサポート APIC からのオンデマンド テクニカルサポート TacOutput を介した追加の障害、イベント、監査 | <p>継続的な停止については、TACに連絡してライブデバッグを依頼してください。</p> <p>何らかの理由でノードを再起動する必要があるときに RCA が要求される場合は、リロードする前にログを収集します。</p> |

| | | |
|---------------------|--|--|
| クラスタリングの問題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. すべての APIC からのオンデマンド テクニカルサポート 2. TacOutput を介した追加の障害、イベント、監査 | APICが異なり、オンデマンドのtechsupport収集が失敗する場合は、Techsupport Localを収集します。 |
| ルーティングの問題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ルーティングの問題のあるノードからのオンデマンド テクニカルサポート. 2. TacOutput を介した追加の障害、イベント、監査 | |
| ノードのクラッシュ/予期しないリロード | <ol style="list-style-type: none"> 1. クラッシュしたノードからのオンデマンド テクニカルサポート. 2. クラッシュしたノードのクラッシュ/コアファイル。 3. TacOutput を介した追加の障害、イベント、監査 | |
| APIC アプリの問題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. すべての APIC からのオンデマンド テクニカルサポート. 2. 影響を受けるアプリの APIC アプリテクニカルサポート. | |

ACI APIC とスイッチ

オンデマンド テクニカルサポート



注:ACIファブリックがIntersightを介して接続され、要求されている場合、テクニカルサポートの生成と、サービスリクエストのオープン中に提供されるシリアル番号のTAC SRへのアップロードは自動化されます。そのSRのTACエンジニアは、Intersightを介して、他の接続デバイスの生成とアップロード、または追加のテクニカルサポートをトリガーできます。

トリガーし、APIC経由でIntersightにアップロード – Nexus Insights Cloud Connectorアプリケーション

この方法を使用するには、「[ACIファブリックは、APIC:Nexus Insights Cloud Connectorアプリケーション経由でIntersightに接続され、要求される必要がある](#)」を参照してください。

1. 移動 : APIC > Apps > Installed Apps > open NCC app > TAC Assist > click Begin
2. ノードを選択して、Collect Logsをクリックします。
3. ジョブステータスがCOMPLETEになったら、View Detailsをクリックします。
4. Job DetailsページのLogsテーブルの下に、Cloud Columnというファイルがあります。
5. 各デバイスのテクニカルサポートバンドルのUploadをクリックします。

トリガーし、NDからIntersightにアップロード : Nexus Dashboard Insights

この方法を使用するには、「[ACIファブリックは、Nexusダッシュボード経由でIntersightに接続され、要求される必要がある : Nexus Dashboard Insights](#)」を参照してください。

1. Nexus Dashboard > Admin Console > Services > Open Nexus Dashboard Insights > Troubleshoot > Log Collectorの順に移動します。
2. New Log Collectionをクリックします。
 1. ログ収集に名前を付けます。
 2. サイトを選択します。
 3. 自動アップロードログファイルのチェックボックスをオンにします。
 4. Select Nodesをクリックし、ノードを選択します。
 5. Start Collectionをクリックします。
 6. TechSupportファイルはintersight.comにアップロードされます。
3. アップロードが完了したら、ファイルがIntersightにアップロードされたことをTACに通知します。
4. TACエンジニアは、分析のためにintersightからTACケースにファイルを移動できます。

APIC UI を介したトリガー

オンデマンド テクニカルサポート ポリシーの作成

 注 : TACから明示的な指示がない限り、テクニカルサポートの時間範囲は指定しないでください。過剰なログ変更があると、ログが失われる可能性があります。これは、タイムリーなRCAを提供するTACの機能に重大な影響を与えます。Techsupport Time Rangeを指定すると、ログファイル自体のタイムスタンプではなく、ファイルの最終変更タイムスタンプに基づいてログが削除されます。

1. メニューバーで、Admin > Import/Export > Export Policies > On-demand TechSupportを右クリック> Create On-demand TechSupportの順にクリックします。
2. [Create On-demand TechSupport] ダイアログボックスのフィールドに適切な値を入力します。
 - リモートロケーションが利用できない場合は、[Export to Controller] をオンにします。生成されたTechsupportは、生成後にGUIのOperationalタブからダウンロードできます。
 - [Include All Controllers in TechSupport] をオンにして、APIC テクニカルサポートを生成します。
 - Source Nodesフィールドでは、Techsupportを生成するスイッチノードを指定できます。
3. [Submit] をクリックして、オンデマンド テクニカルサポート ポリシーを作成します。

The screenshot shows the Cisco APIC Admin interface. The top navigation bar includes 'Admin' (highlighted with a red box and '1'), 'Operations', and 'Apps'. Below this, a secondary bar contains 'Import/Export' (highlighted with a red box and '2'). The left sidebar shows a tree view with 'Export Policies' (highlighted with a red box and '3') and 'On-demand TechSupport' (highlighted with a red box and '4'). The main content area displays the 'On-demand TechSupport' page with a table of policies.

Create On-Demand TechSupport

Create TechSupport Export Policy

Name:

5.1 Export to Controller:
 Export Destination:

For App:

Include pre-upgrade logs:

5.2 Include All Controllers in TechSupport:

5.3 Source Nodes:

Specify TechSupport Time Range:

Category:

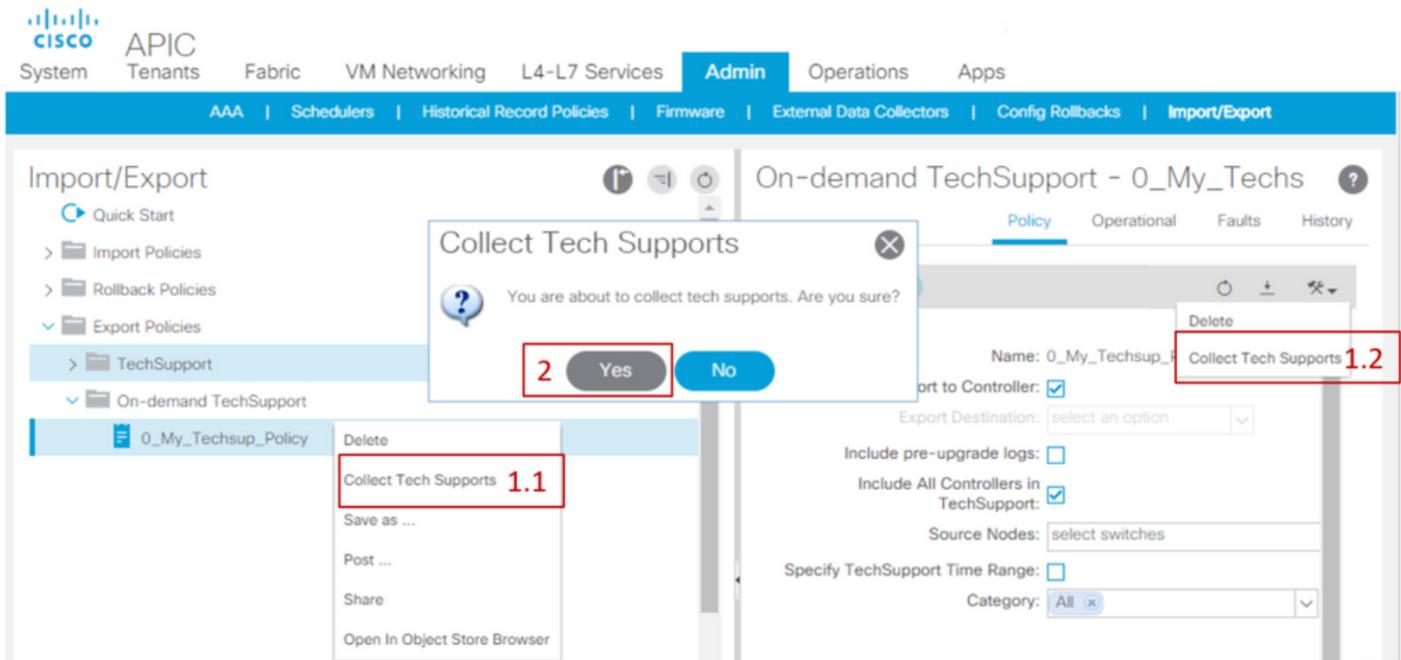
6

オンデマンドTechsupportを生成します。

1. 既存のオンデマンド テクニカルサポート ポリシーに移動します。作成したポリシーは、Admin > Import/Export > Export Policies > On-demand TechSupport > On-demand TechSupportフォルダを展開> On-demand TechSupportフォルダを展開>使用するポリシーを右クリック> Collect Tech Supportにあります。

- または、オンデマンドTechsupportポリシーをクリックしてメインペインに表示し、Wrench/HammerアイコンをクリックしてCollect Tech Supportsを選択します。

2. [Yes] を選択して、テクニカルサポート情報の収集を開始します。



生成されたTechsupportを収集します。

1. Techsupportの生成時に[Export to Controller]（コントローラへのエクスポート）が有効になっていない場合は、すべてのtechsupportファイルの[Export Destination]（エクスポート先）（リモートの場所）を確認できます。
2. [Export to Controller] が有効になっている場合は、テクニカルサポートが生成されたオンデマンドテクニカルサポートポリシーに移動します。作成したポリシーは、Admin > Import/Export > Export Policies > On-demand TechSupportにあります。
 - 生成されたテクニカルサポートは、オンデマンドテクニカルサポートポリシーの[Operational]タブ内にあります。各ファイルには、http/https経由でダウンロードするためのリンクがあります。各ノードには3つのリンクがあり、1つのリンクが各ファイルに結び付けられています。

 注：バージョンが2.2より前の場合は、ローカルの管理者ユーザアカウントを使用して、UIからTechsupportsをダウンロードする必要があります。それ以外の場合は、管理者権限を持つ他のローカルアカウントを使用します。リモートユーザは、UIを介してtechsupportをダウンロードできません。代わりに、sftpまたは別の方法を使用して、対応するAPICの/data/techsupport/ディレクトリからtechsupportファイルを取得できます。

| Node ID | Status | Detail Status | Collection Time | Export Location | File Size | Logs Location | Logs Size | DB Location | DB Size |
|---------|--------|---------------|-----------------|-----------------|-----------|---------------|-----------|---------------|---------|
| 1 | ✓ | Task com... | 2018-03-2... | files/1/te... | 26... | files/1/te... | 32... | files/1/te... | 10... |
| 2 | ✓ | Task com... | 2018-03-2... | files/2/te... | 14... | files/2/te... | 28... | files/2/te... | 519 |
| 3 | ✓ | Task com... | 2018-03-2... | files/3/te... | 17... | files/3/te... | 21... | files/3/te... | 75... |

注：テクニカルサポートバンドルの URL 内にある番号は、ファイルが存在する APIC を示しています。たとえば、files/2/techsupport.tgzは、この特定のバンドルがAPIC 2の /data/techsupport/ディレクトリにあることを示します。

オンデマンド テクニカルサポート ファイルの説明

テクニカルサポートが [Export to Controller] オプションを使用して生成された場合、GUI には ACI ノード (APIC ノードまたはスイッチノード) ごとに 3 つの URL が表示されます。URL ごとにログファイルのタイプが異なり、固有の情報が含まれています。TACでは通常、完全な分析のためにすべてのロギングを取得するために、ノードごとに3つのファイルすべてをアップロードする必要があります。

各 URL は、次の 3 つのファイルタイプのいずれかにマップされます。

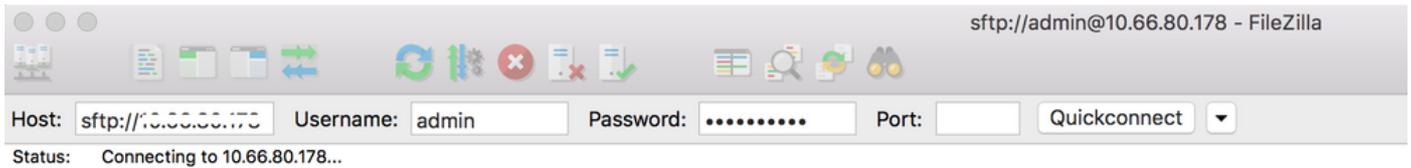
| [Category] | 典型的なサフィックス | 便利な用途 | ファイル サイズ |
|------------|----------------|---------|----------|
| エクスポート | _1of3.tgz | 監査/障害ログ | 小から中 |
| ログ | _logs_3of3.tgz | プロセスログ | 最大 |
| DB | _db_2of3.tgz | MO ダンプ | 小 |

注：コントローラへのエクスポートの代わりにエクスポート先を選択した場合、定義されたリモートロケーションは、ノードごとに3つのファイルを含むフォルダを作成します。

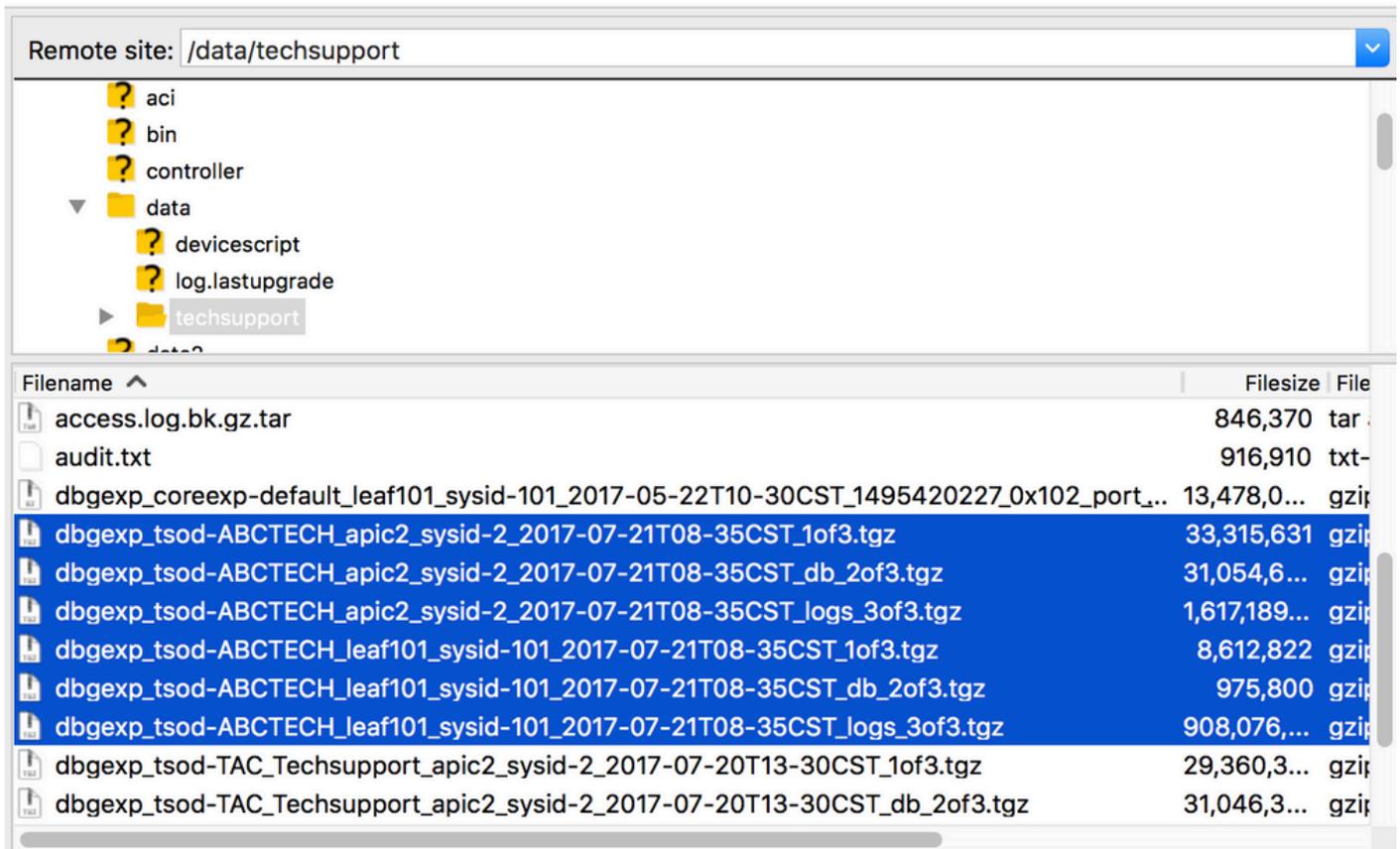
ブラウザリンクを使用してテクニカルサポートをダウンロードするときに問題が発生する場合は、scpまたはsftpクライアント (WinSCPやFileZillaなど) を使用してAPICストレージから直接ファイルをダウンロードします。

1. 各 APIC に接続 (sftp) します。収集されたtech-supportファイルは、使用可能なすべての APICに格納されるため、収集されたtech-supportファイルについて各APICを確認することが重要

です。



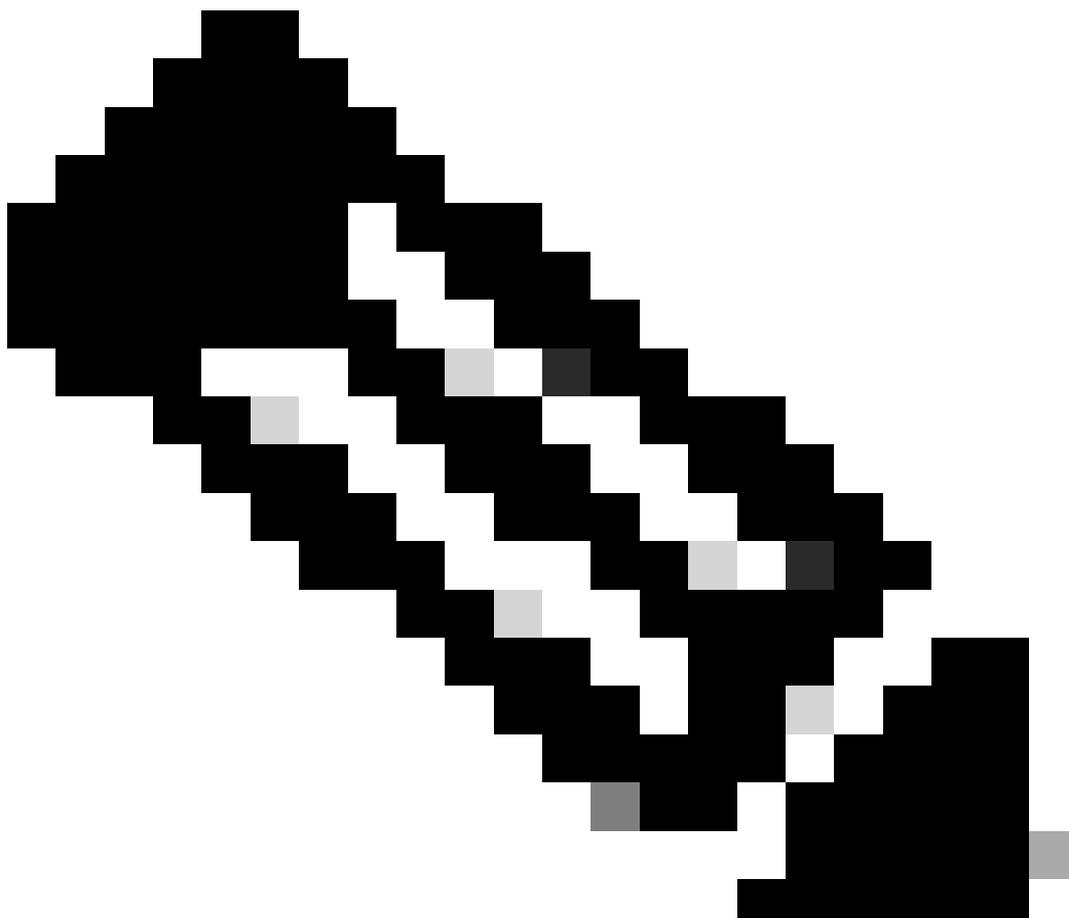
2. 接続された APIC の /data/techsupport フォルダに移動します (すべての APIC コントローラでこの手順を繰り返します)。



オンデマンドTechSupportポリシー名を含む名前のファイル (この例ではABCTECH) を探し、それらのファイルをコンピュータにダウンロードします。

テクニカルサポートローカル

オンデマンドTechsupportの方がより詳しい情報を提供するため、オンデマンドTechsupportは常にtechsupportローカルよりも推奨されます。ただし、収集はポリシーによってトリガーされるため、完全に適合した APIC クラスタに依存しています。



注：Techsupportローカルは個々のノードでトリガーする必要があります。そのため、すべてのAPICに対してtechsupport localを収集する予定の場合、cmdはクラスタ内の各APICで個別に実行する必要があります。

テクニカルサポートローカルのシナリオ

- APICは完全には適合しません。
- ACIスイッチは、まだAPICによって検出されていません。
- ACIスイッチとAPICとの通信が失われました。
- 内部プロセスの誤動作により、オンデマンドTechsupportの動作が妨げられる（まれ）。

APIC CLI を介したトリガー

1. admin ログイン情報を使用して APIC との SSH セッションを開きます。
 - 管理者クレデンシャルを使用してログインできない場合は、ユーザ名rescue-userを使用します。パスワードは、adminローカルユーザと同じにすることができます。
2. bash -c "techsupport local"コマンドを実行します。

<#root>

Using username "admin".
Application Policy Infrastructure Controller

apic1#

```
bash -c "techsupport local"
```

This command is being deprecated on APIC controller, please use NXOS-style equivalent command
Running bash commands
Completed 1 of 10 commands

...

Completed 10 of 10 commands

Starting data compression

Techsupport collected at /data/techsupport/local_apic1_2018-05-29T08-17.tgz . Please remove the fi

3. ローカルのテクニカルサポートをダウンロードします。

- オプションA:SCPを使用してtechsupportファイルをダウンロードします。
 - WinSCP または pscp.exe (Windows ユーザー)
 - ネイティブ SCP クライアント (MAC ユーザー)
- オプションB:HTTPSを使用してtechsupportファイルをダウンロードします。
 1. Chrome または Firefox などのブラウザを開きます。
 2. https://<aci.apic.ip.addr>/files/<apic#>/techsupport/<ts_filename>に移動します。
 - 例 : https://a.p.i.c/files/1/techsupport/local_apic1_2018-05-29T08-17.tgz
 3. admin ログイン情報を使用してログインします。
 4. プロンプトが表示されたら、ブラウザのダウンロードプロンプトで [Save File] を選択します。

スイッチ CLI を介したトリガー

1. admin ログイン情報を使用して ACI スイッチとの SSH セッションを開きます。
 - スイッチがAPICによってまだ検出されていない場合は、ユーザ名adminを使用します
 -
2. "techsupport local"コマンドを実行します。

<#root>

fab5-leaf1#

```
techsupport local
```

Running bash commands
Completed 1 of 9 commands

...

Completed 9 of 9 commands

Starting data compression

Techsupport collected at /data/techsupport/local_fab5-leaf1_2018-05-29T08-16.tgz . Please remove the fi

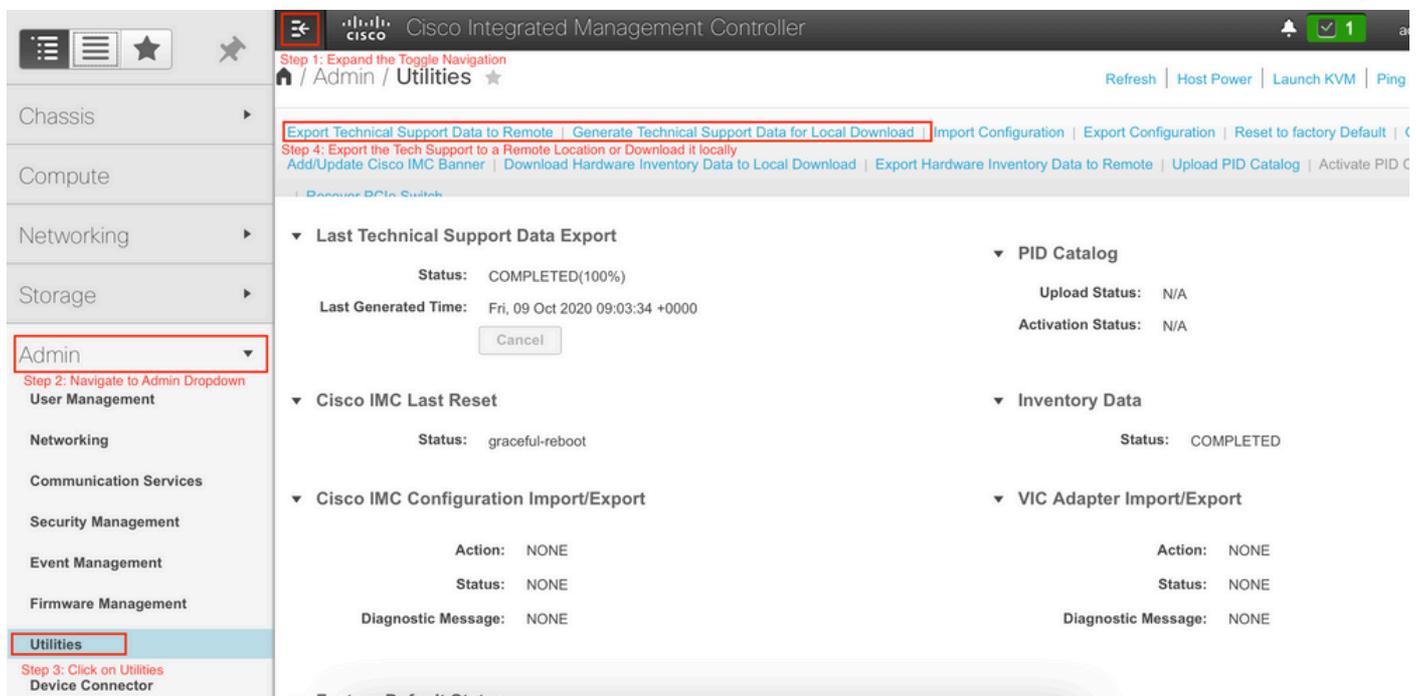
3. ローカルのテクニカルサポートをダウンロードします。

- オプションA:SCPを使用してACIスイッチからtechsupportファイルをダウンロードします。
 - WinSCP または pscp.exe (Windows ユーザー)
 - ネイティブ SCP クライアント (MAC ユーザー)
- オプションB:APIC経由でHTTPSを使用してtechsupportファイルをダウンロードします。
 1. APIC CLIにログインします (ステップ4で使用するAPICに注意してください)。
 2. 次のコマンドを使用して、ACIスイッチからAPICにtechsupportファイルを転送します
 - scp <ノード名>:/data/techsupport/<ts_filename> /data/techsupport
 - 例 : apic1# scp fab5-leaf1:/data/techsupport/local_fab5-leaf1_2018-05-29T08-16.tgz /data/techsupport
 3. Chrome または Firefox などのブラウザを開きます。
 4. https://<aci.apic.ip.addr>/files/<apic#>/techsupport/<ts_filename>に移動します。
 - 例 : https://a.p.i.c/files/1/techsupport/local_fab5-leaf1_2018-05-29T08-16.tgz
 5. admin ログイン情報を使用してログインします。
 6. プロンプトが表示されたら、ブラウザのダウンロードプロンプトで [Save File] を選択します。

CIMC テクニカルサポート

CIMC UI を介したトリガー

APIC CIMCからTechsupportを収集して、APICシャーシに関連するログを確認できます。CIMC show techは、CIMC AdminタブのUtilitiesセクションでローカルにキャプチャしたり、リモートロケーションに送信したりできます。



CIMC CLIを介したトリガー

APIC CIMC CLI で、次のように入力します。

```

~ # scope cimc
~ /cimc # scope tech-support
~ /cimc/tech-support # set tftp-ip 192.168.1.1
~ /cimc/tech-support *# set path \techsupport\showtech
~ /cimc/tech-support *# commit
~ /cimc/tech-support *# start

```

CIMC Techsupportsの解析

次に、show techコマンドの主要フィールドの一部を示します。

| Techsupファイル/場所 | 説明 |
|-------------------|---|
| var/ | すべての監視対象サービスの詳細なログとステータスが含まれます。また、SOL および IPMI センサー アラームの設定など、サービス情報ファイルも含まれます。 |
| var/log (可変/ログ) | ローリング揮発性ログメッセージを含みます。 |
| obfl/ | ローリング不揮発性ログメッセージを含みます。 |
| 会議/ | 不揮発性設定およびSEL |
| mp/ | show tech-supportテキストファイルと、BIOS tech-supportテキストファイル。このテキストファイルには、すべてのプロセス、ネットワーク、システム、メザニン、および BIOS の状態情報が含まれています。 |
| mctool | CIMCの状態に関する基本情報を取得します。 |
| network | 現在のネットワーク構成とソケット情報を取得します。 |
| obfl | ライブobfl (オンボード障害ログ) を取得します。 |
| メッセージ | ライブ/var/log/messagesファイルを取得します |

| | |
|------|----------------------|
| | 。 |
| アラーム | アラーム状態のセンサーを一覧表示します。 |
| センサー | IPMIからの現在のセンサーの読み取り |
| 電力 | x86の現在の電源状態。 |

監査、イベント、障害などの拡張 (TacOutput)

TAC は、RCA で一般的に必要な障害、イベント、監査などの追加の基本出力を要求できます。

現時点で、show tech にはこれらのオブジェクトのサブセットがすでに含まれていますが、最後の 10,000 レコードに限られます。場合によっては、TACはフルセットのレコードを必要としますが、これは10,000レコードを大幅に上回ります。

 注：リリース5.2(1g)以降では、APICからCLIコマンドtrigger tacoutputを使用して、これらの追加オブジェクトを収集できます。ただし、5.3(x)および6.0(3d)より前のリリースでは、組み込みスクリプトでレコードのすべてのページを収集できない場合があります。この場合は、次のセクションで概説する[aci-tac-scripts](#)リポジトリ内で最新バージョンのスクリプトを使用することを推奨します。

Trigger via Trigger Tacoutput - 5.3/6.0(3d)以降のリリース

バージョン5.3/6.0(3d)以降のリリースを実行しているACIファブリックの場合、trigger tacoutputは、イベント、障害、監査、およびその他のトラブルシューティング出力用の簡素化された収集インターフェイスを提供します。

```
<#root>
```

```
apic1#
```

```
trigger tacoutput
```

```
Select corresponding numbers of objects to collect. Separate numbers with commas. *Note, topSystem, fab
```

```
Ex: 1,2,3,4,5
```

```
1. faultInfo *collected unfiltered
```

```
2. faultRecord
```

```
3. eventRecord
```

```
4. aaaModLR *collected unfiltered
```

```
5. po1DeploymentRecord
```

```
6. epRecord
```

```
7. healthRecord
```

```
8. healthInst *collected unfiltered
```

```
Enter selections:
```

```
1,2,3,4,5,6,7,8
```

Enter record start date (format: 2019-12-15T00:00:00) *default is one month prior to current date:
Enter record end date (format: 2019-12-15T00:00:00) *default is current date:

... collection runs...

```
2021-12-17T08:19:59 TacOutput collection completed.
2021-12-17T08:19:59 Verify files and file sizes at /tmp/TacOutput2021-12-17T08-16-19
2021-12-17T08:19:59 Compressing files...
2021-12-17T08:20:01 Compression completed
Logs available for SCP or SFTP download from /data/techsupport/TacOutput-2021-11-17T08:18:06-to-2021-12-17T08:18:06.tgz
To download through your web browser go to
https://<apic address>/files/1/techsupport/TacOutput-2021-11-17T08:18:06-to-2021-12-17T08:18:06.tgz
```

Note: in the URL previous 1 denotes the APIC ID 1, if script was run on APIC-n, then n must be specified

To remove files when done run

```
rm -rf /tmp/TacOutput2021-12-17T08-16-19
rm -f /data/techsupport/TacOutput-2021-11-17T08:18:06-to-2021-12-17T08:18:06.tgz
```

Collect TacOutputsスクリプトによるトリガー

5.3/6.0(3d)よりも前のバージョンを実行しているACIファブリックでは、[aci-tac-scripts](#)リポジトリ内に[Collect TacOutput](#)スクリプトがあり、[trigger tacoutput](#)コマンドと同様のインターフェイスを提供します。

<#root>

apic#

```
/tmp/collectTacOutputs.sh
```

Select corresponding numbers of objects to collect. Separate numbers with commas. *Note, topSystem, fab

Ex: 1,2,3,4,5

1. faultInfo *collected unfiltered
2. faultRecord
3. eventRecord
4. aaaModLR
5. polDeploymentRecord
6. epRecord
7. healthRecord
8. healthInst *collected unfiltered

Enter selections:

1,2,3,4,5,6,7,8

Enter record start date (format: 2019-12-15T00:00:00) *default is one month prior to current date: 2019

Enter record end date (format: 2019-12-15T00:00:00) *default is current date: 2020-01-05T00:00:00

...script collection runs...

Compression completed

Logs available for SCP or SFTP download from /data/techsupport/TacOutput-2019-12-25T00:00:00-to-2020-01-05T00:00:00.tgz
To download through your web browser go to https://files/1/techsupport/TacOutput-2019-12-25T00:00:00-to-2020-01-05T00:00:00.tgz

クラッシュ/コアファイル

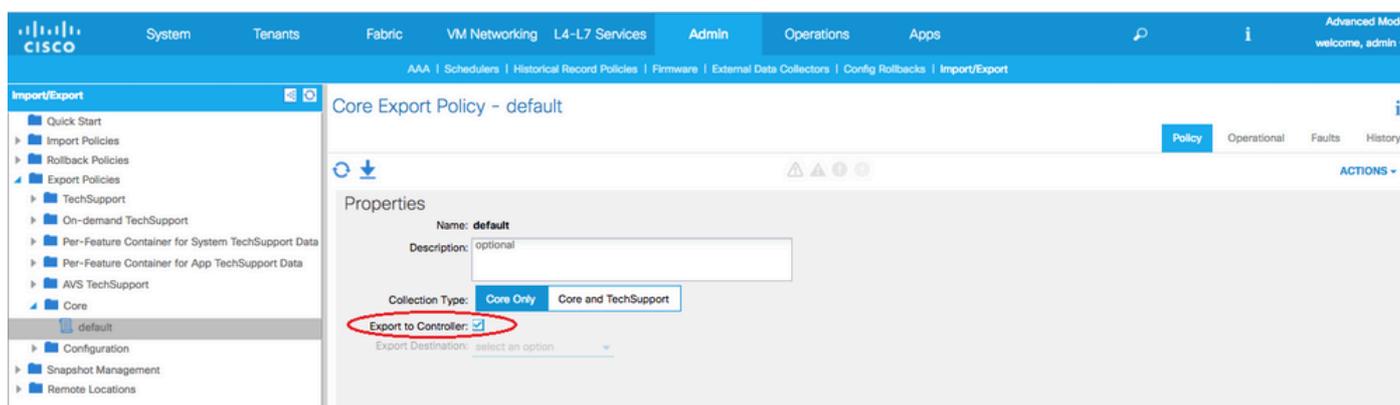
APIC UI を介した収集

ACI スイッチノードと APIC には、システムのさまざまな機能面を制御する多数のプロセスがあります。システムの特定のプロセスでソフトウェア障害が発生した場合、コアファイルが生成され、プロセスがリロードされます。プロセスがクラッシュしてコアファイルが生成されると、イベントだけでなく障害も生成されます。スイッチ/APIC のプロセスがクラッシュすると、コアファイルが圧縮され、APIC にコピーされます。

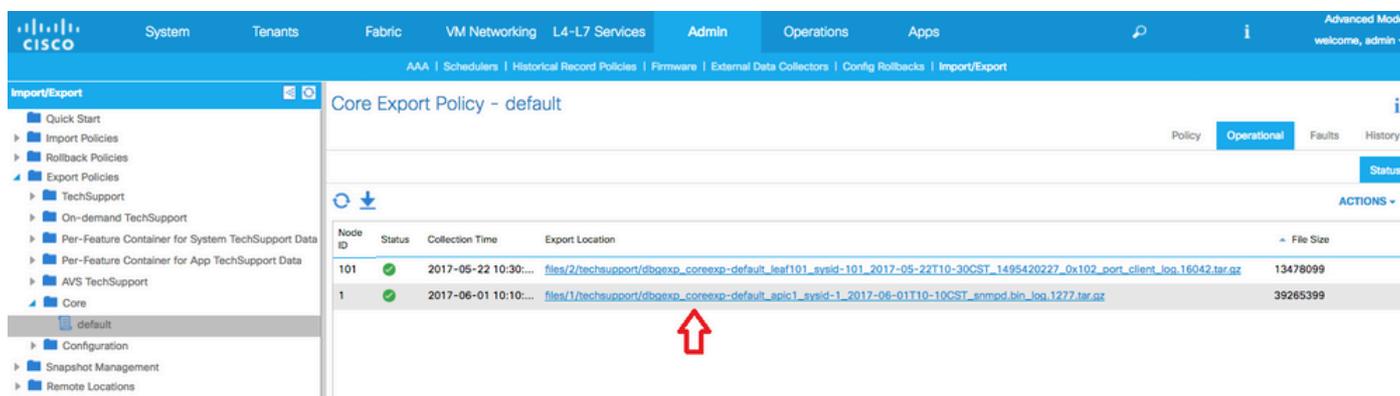
APIC GUIは、ファブリックノードのコアファイルを収集するための一元的な場所を提供します。

新しいエクスポートポリシーは、Admin > IMPORT/EXPORT in Export Policies > Coreで作成できます。

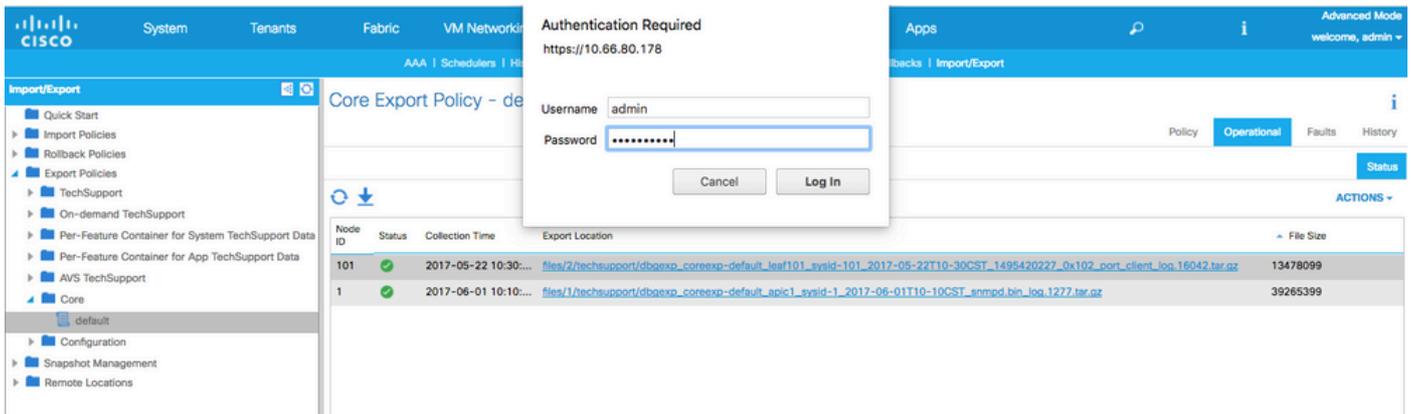
ファイルを直接ダウンロードできるデフォルトのコアポリシーがあります。生成されたすべてのコアファイルは、生成時にAPICコントローラへの転送を試行します。成功した場合は、デフォルトのコアポリシーの下に表示されます。



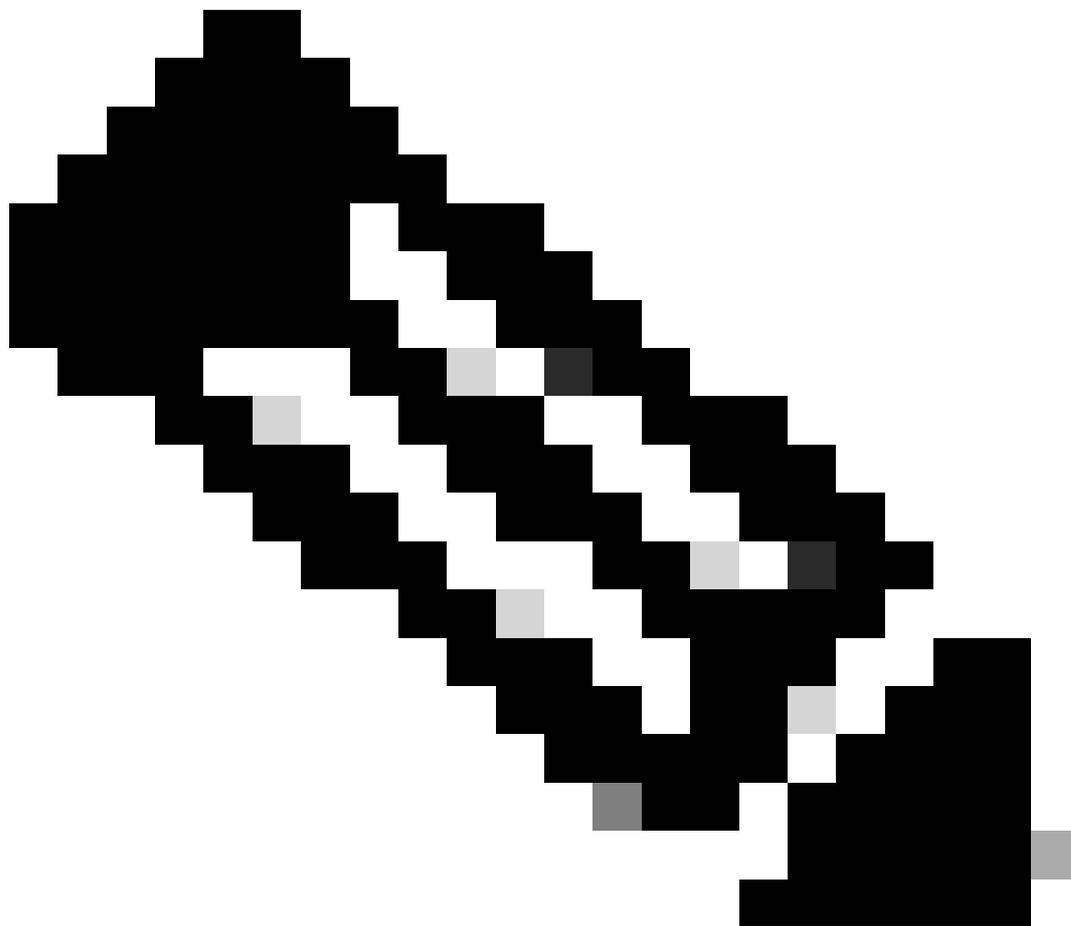
[Operational] タブを確認すると、生成された（およびエクスポートされた）コアファイルを表示できます。このタブでは、コアファイルを生成した（サービスがクラッシュした）ノード、収集時間などを確認できます。



ファイルをデスクトップにダウンロードするには、Export Locationリンクをクリックします。要求されたら、APIC ログイン情報を入力します。



または、APIC から SSH/SCP 経由でコアファイルにアクセスできます。コアファイルが配置されている APIC の /data/techsupport フォルダにあります。



注：コアファイルは、クラスタ内の1つのAPICの/data/techsupportにあります。コアファイルが存在する正確なAPICは、GUIに表示されるエクスポート場所パスで確認できます。たとえば、エクスポート場所がfiles/3/で始まる場合、ファイルはノード3(APIC3)にあります。

スイッチ CLI を介した収集

例外的なケースとして、リーフまたはスパインのコアがAPICにコピーできず、スイッチの /logflash/core に存在する場合があります。これらのファイルは、SCPによってスイッチに直接取得するか、ファイルをAPICに移動してからSCPによってAPICから取り出すことができます。

collectionスクリプトは、/logflash/core内のコアファイルの収集を試みるとともに、追加のクラッシュ関連情報を収集します。

```
#Run on an ACI Leaf Node, Copy from here
bash -c '
# set this to correct leaf name
leaf="$(hostname)" "_data"

# collect data
mkdir /data/techsupport/$leaf
cd /data/techsupport/$leaf
show system reset-reason > show_sys_rr.log
vsh -c "show logging onboard internal reset-reason" > show_logg_onb_internal_rr.log
vsh -c "show logging onboard stack-trace" > show_logg_onb_stack-trace.log
vsh -c "show logging onboard card-boot-history" > show_logg_onb_card-boot-history.log
vsh -c "show processes log details" > show_process_log_detail.log
df -h > df.log
ls -liah /logflash/core > logflash_core.log
cp /var/log/dmesg ./
cp -rf /mnt/ifc/log/last_run/ ./
mkdir bootflash; cp /bootflash/mem_log* ./bootflash/
mkdir mnt_pss; cp -rf /mnt/pss/* ./mnt_pss/
mkdir mnt_pstore; cp -rf /mnt/pstore/* ./mnt_pstore/
mkdir logflash_core; cp -rf /logflash/core ./logflash_core

# compress and combine files
cd /data/techsupport
zipfile="$leaf".tgz"
tar -zcvf ./$zipfile ./$leaf/*
rm -rf ./$leaf/*
rmdir ./$leaf

echo ""
echo " ///// Please collect /data/techsupport/"$zipfile" and upload to SR /////"
'
#copy to here
```

APIC アプリテクニカルサポート

APIC UI を介したトリガー

APIC アプリを使用していて、問題があることがわかった場合は、アプリに対して特定のオンデマンドテクニカルサポート ポリシーを作成して、分析のためにログを収集できます。

ポリシーは、[Admin] > [Import/Export] > [Export Policies] > [Create On-demand Tech Support] で作成できます。For Appには、ログを収集するAPICアプリケーションを選択できる特定のオプションがあります。

The screenshot shows the 'Create On-demand Tech Support' dialog box in the Cisco APIC Admin console. The dialog has a title bar with a question mark and a close button. The main content area contains the following fields and options:

- Name:
- Export to Controller:
- Export Destination:
- For App:
- App: (dropdown menu is open)

The dropdown menu for 'App' shows the following options:

- Cisco/ELAM Assistant (Beta) pluginContr
- Cisco/ExternalSwitch pluginContr
- Cisco/Nexus Insights Cloud Connector pluginContr
- Cisco/SSDUpgrader pluginContr

At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'Cancel' and 'Submit'.

ポリシーが作成されると、そのポリシーに対してコレクションがトリガーされ、techsupportが収集されます。また、Export to Controllerが選択されている場合は、operationalタブからダウンロードできるようになります。

Application Virtual Edge (AVE)

Vem-Support

AVE ノード CLI を介したトリガー

AVE CLI にログインし、以下のコマンドを実行します。show techが/tmpディレクトリに収集されます。SCP を使用してエクスポートできます。

<#root>

cisco-ave:~\$

vem-support all

This can take some time. Please wait.
Copying dpa logs

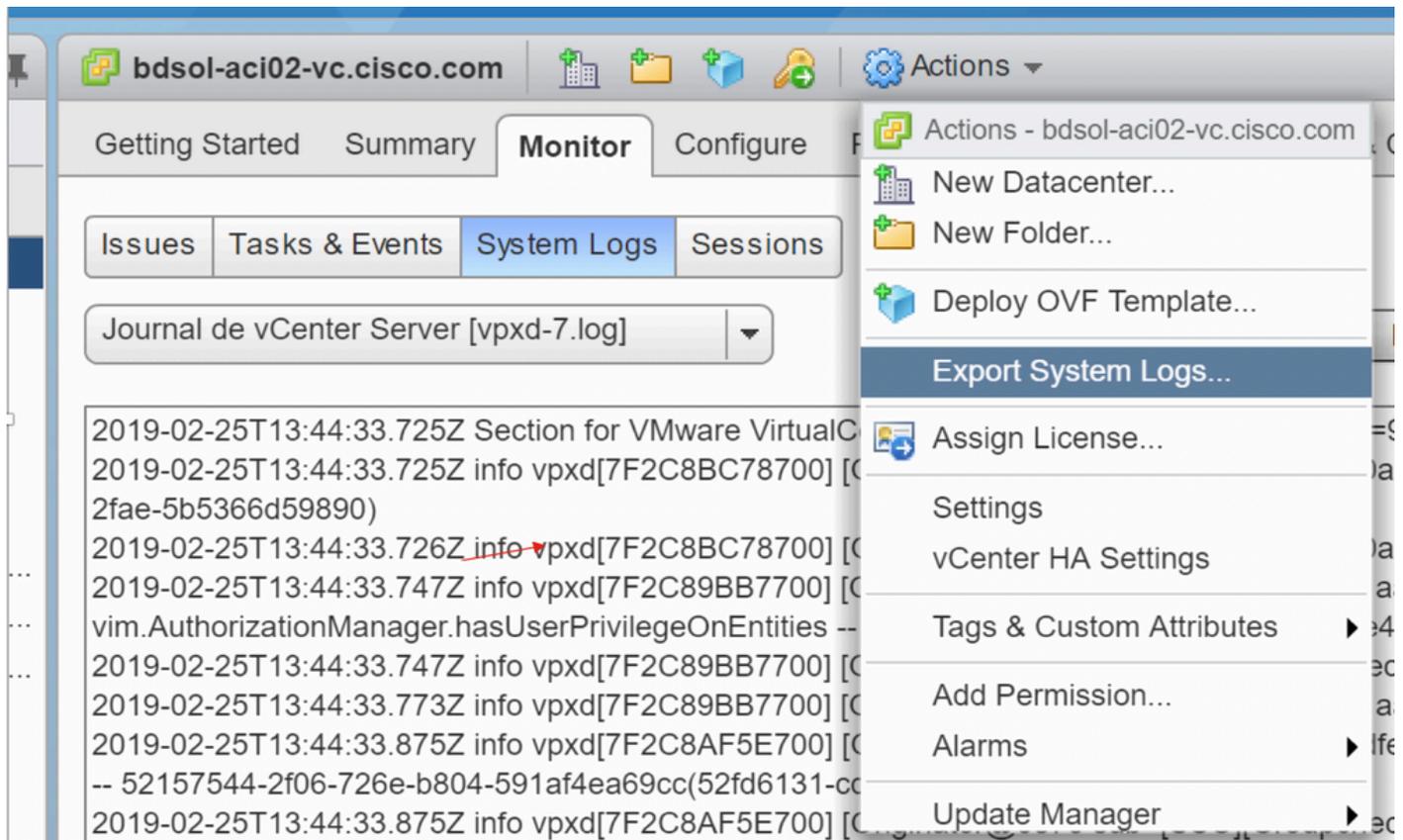
...
Generated /tmp/dbgexp_ave_sw-dvs-60_10.48.16.46_2019-0226-1408_logs.tgz

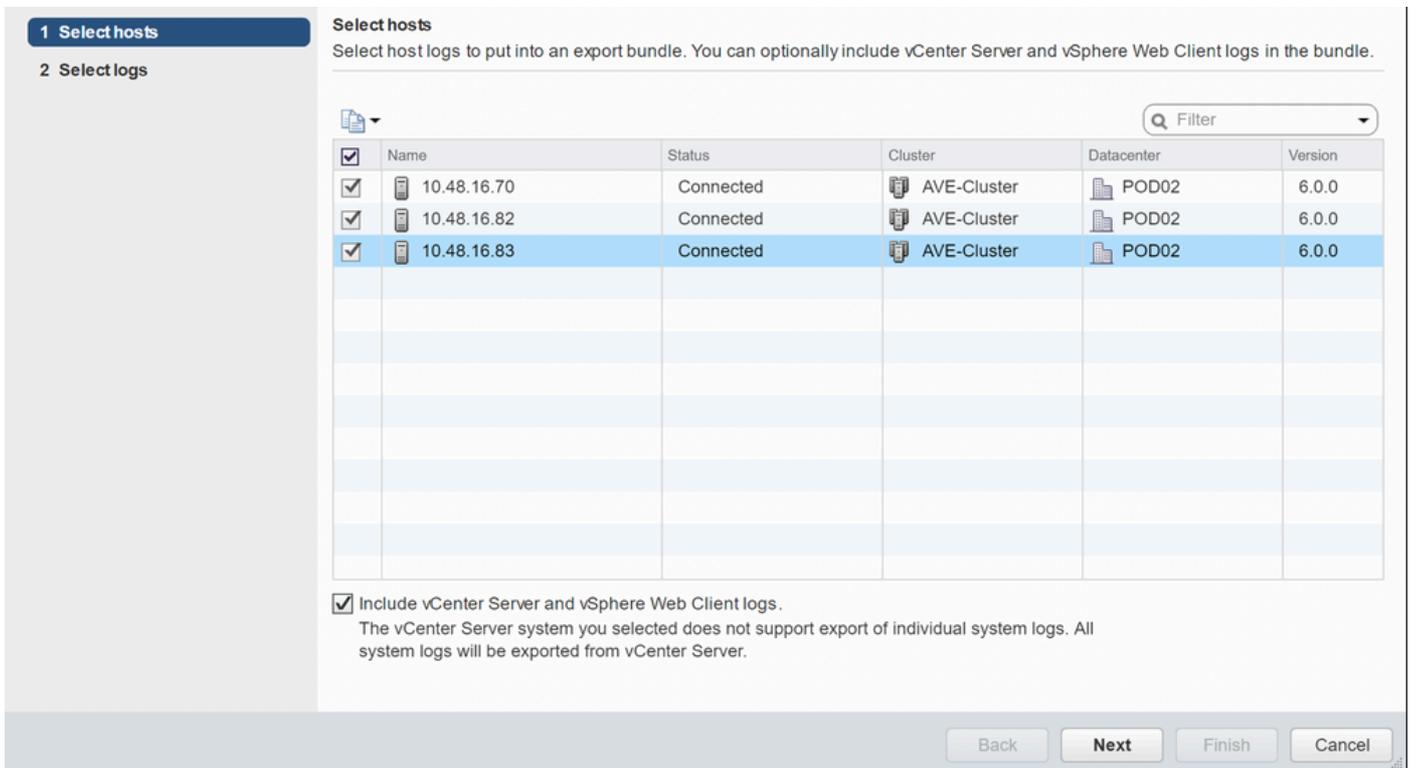
cisco-ave:tmp\$ tar -tf dbgexp_ave_sw-dvs-60_10.48.16.46_2019-0226-1408_logs.tgz
dbgexp_ave_sw-dvs-60_10.48.16.46_2019-0226-1408_logs/
dbgexp_ave_sw-dvs-60_10.48.16.46_2019-0226-1408_logs/cisco-vemlog.txt
dbgexp_ave_sw-dvs-60_10.48.16.46_2019-0226-1408_logs/cisco-vem-support.txt
dbgexp_ave_sw-dvs-60_10.48.16.46_2019-0226-1408_logs/cisco-vemdpa.txt
...
dbgexp_ave_sw-dvs-60_10.48.16.46_2019-0226-1408_logs/log/redis/
dbgexp_ave_sw-dvs-60_10.48.16.46_2019-0226-1408_logs/log/supervisor/

vCenter/ESXI ホストログ

vCenter/ESXi UI を介したトリガー

VcenterおよびESXホストのログは、次の画面イメージに示すようにエクスポートできます。

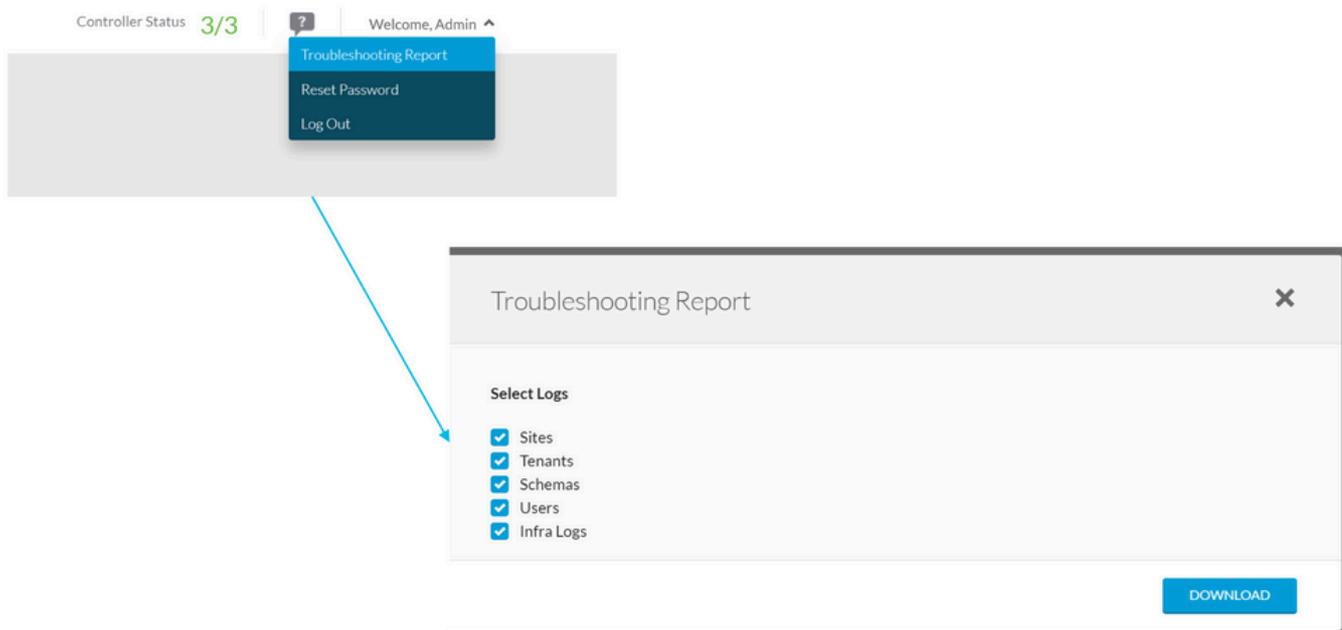




Nexus Dashboard Orchestrator (NDO) 、以前の MSO

トラブルシューティング レポート

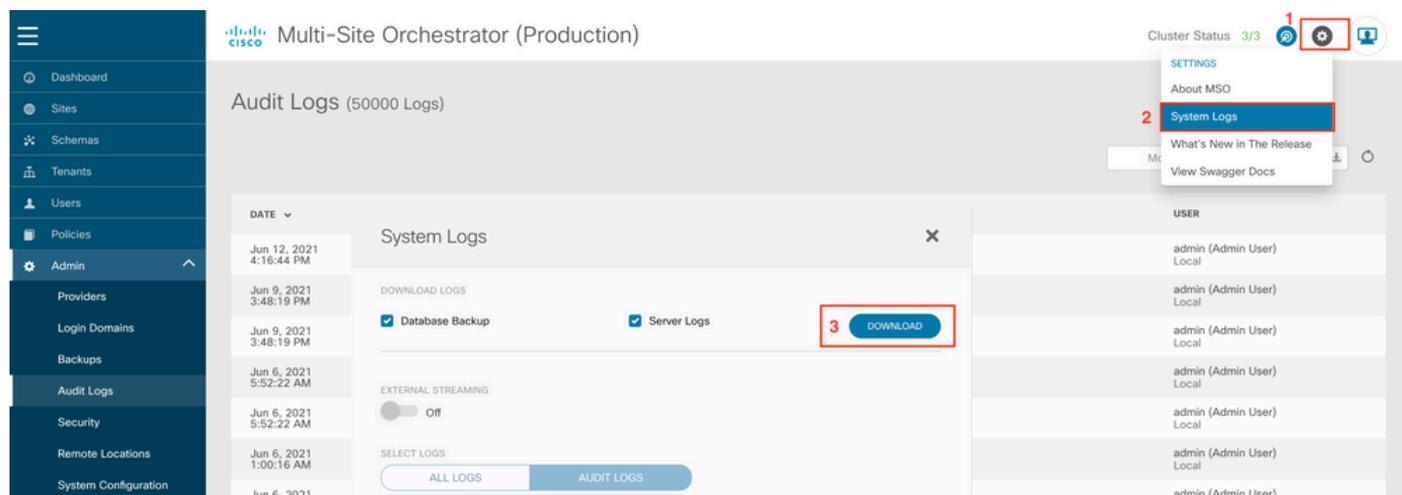
NDO/MSO UI経由のトリガー – MSO Pre-2.x



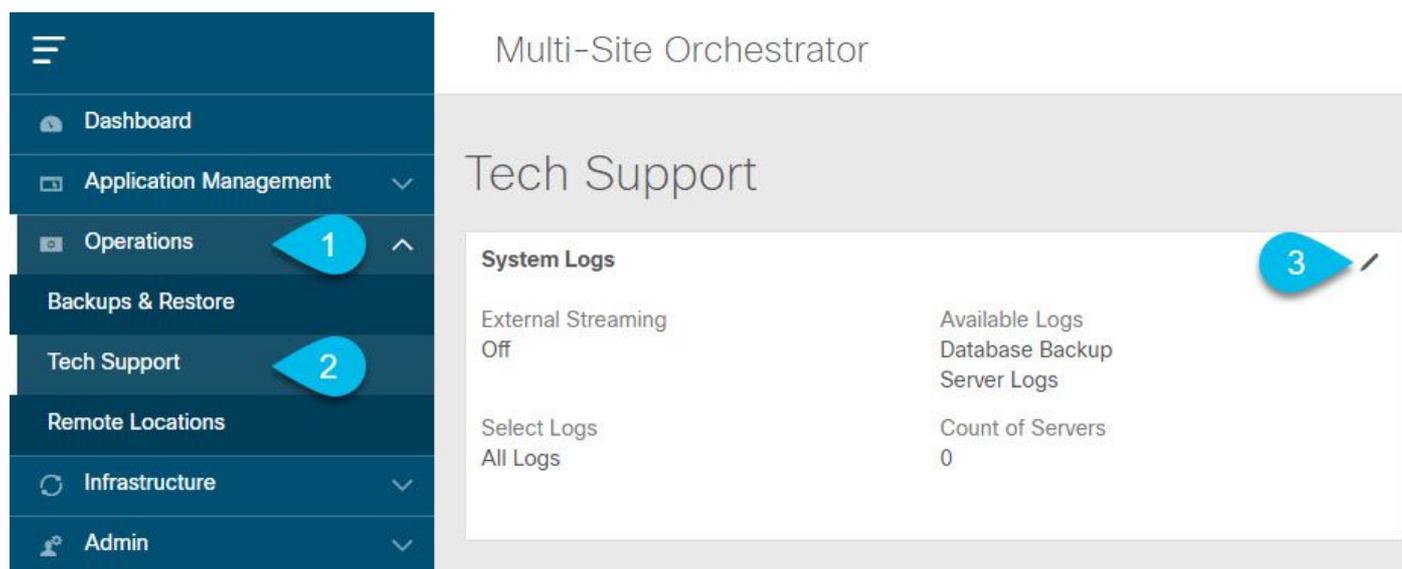
NDO/MSO UI経由のトリガー – MSOバージョン2.x

1. MSO GUIで、設定アイコンをクリックします。

2. ドロップダウン・リストから「System Logs」を選択します。
3. ポップアップウィンドウでdownloadボタンをクリックします。

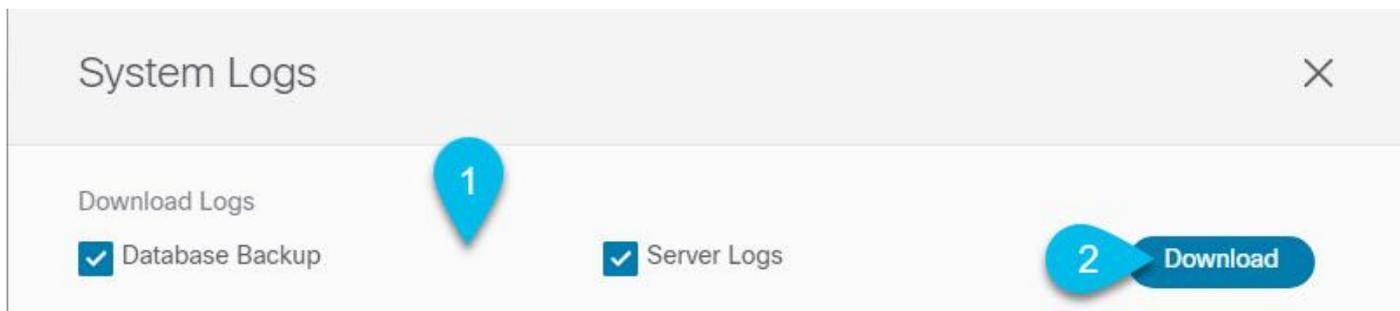


NDO/MSO UI経由のトリガー – MSOバージョン3.x以降



システム ログ

1. MSO GUI から、メインメニューで [System Logs] 画面を開きます。Operations > Tech Supportの順に選択します。
- 2.[System Logs] フレームの右上隅にある編集ボタンをクリックします。



アップロード

3.ダウンロードするログを選択します。

4. downloadボタンをクリックします。

選択した項目のアーカイブがシステムにダウンロードされます。レポートには、すべてのスキーマ、サイト定義、テナント定義、ユーザ定義などの情報がJSON形式で含まれます。infra_logs.txtファイル内のコンテナのすべてのログ。

NDO/MSO UI経由のストリーム – MSOバージョン3.x以降

システムログは外部アナライザにストリーミングできます。リアルタイムで外部ログアナライザツールにログを送信する方法の詳細については、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/dcn/mso/3x/configuration/cisco-aci-multi-site-configuration-guide-301/aci-multi-site-logs.html>

スタンドアロン監査ログ

NDO/MSO UI を介した収集

MSC監査ログは、CSV形式のJSONでダウンロードできます。

Audit Logs (312 Logs)

Most Recent



| DATE | ACTION | TYPE | DETAILS | USER |
|--------------------------|-----------|----------------|--|-----------------------------|
| Apr 11, 2018 10:50 AM | Created | Backup | Backup BackupRD_20180411085033 was created | admin (Admin User) Local |
| Apr 11, 2018 10:48 AM | Logged In | Authentication | User admin has successfully logged in | admin (Admin User) Local |
| Apr 11, 2018 10:08 AM | Deployed | Schema Site | Template Pod35-only was deployed on POD35 | admin (Admin User) Local |
| Apr 11, 2018 10:08 AM | Deployed | Schema Site | Template Pod35-only was deployed on POD36 | admin (Admin User) Local |
| Apr 11, 2018 10:08 AM | Updated | Schema | Schema DC-Schema was updated | admin (Admin User) Local |
| Apr 11, 2018 10:06 AM | Updated | Schema | Schema DC-Schema was updated | admin (Admin User) Local |
| Apr 11, 2018 10:06 AM | Updated | Template | Template Pod35-only was updated | admin (Admin User) Local |
| Apr 11, 2018 10:06 AM | Created | EPG | EPG test was created | admin (Admin User) Local |

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。